

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第366号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2017年6月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

高校校外活動(高校1年・3年) スポーツ大会(高校2年)



BBQ(高3) お腹いっぱい食べました



スポーツ大会(高2) 激走!! クラス対抗リレー!!



湘南校舎見学会(高1) マップを片手にキャンパス内を散策

2017年度学校運営方針

5月号で掲載した2017年度の学校運営方針重点目標について、今月から数回に分けて詳しく紹介していきます。

2017年度の重点目標 PART.1

1 学習と部活動の両立ができる生徒を育てる

「学習は学生の本分である」は当然ですが、本校では、部活動も教科学習に並ぶ大切な時間と考えています。部活動を通じて学べることは、企画力・実践力・リーダーシップ・礼儀といった社会で必要とされる能力であり、また、他者を思いやる心、協調性や責任感、忍耐力なども部活動によって養われます。中高大の一貫教育体制が整った本校だからこそ、受験にとらわれず、学習と部活動をしっかりと両立できる生徒を育てていきたいと考えています。



2 いつでも、どこでも挨拶のできる生徒を育てる



来校された多くの方が、「生徒が元気な声で挨拶をしてくれる」と褒めてくれます。これは本校の自慢できる良き伝統です。伝統は黙っていても続いていくものではありません。生徒・教職員が意識して伝えていかなければ次第に薄れていきます。挨拶は人間関係の基本中の基本です。豊かな人間関係があってこそ人生も豊かなものになります。そのことを忘れず、これからもこの伝統を守っていききたいと考えています。

3 新学習指導要領に対応する特色ある指導方法を研究する

高校では学習指導要領改訂が年次進行で行われ、一昨年度全学年の切り替えが完了し、中高6学年すべてが新学習指導要領でのカリキュラムとなりました。改訂内容の研究を重ね、各教科でシラバスのブラッシュアップを継続して行い、より効果的な学びが可能となるように指導方法の工夫改善を重ねています。また、2021年度より中学校、2022年度高等学校で全面改訂される新学習指導要領が実施される予定で、「英語教育の強化」と「地歴公民の新必修科目」がポイントとなります。本校では先取りして、今年度の高校新入生が2年生で「探究活動」という授業を行い、3年生では成果発表や論文作成ができるように進めています。



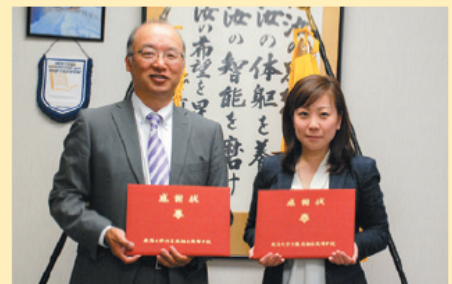
第13回 ベストティーチャー表彰 (2016年度)

中等部タイプA 古田 奈穂 先生(技術家庭科)

高校タイプA 高橋 光太 先生(数学科) 日塔 瑞乃 先生(国語科)

中・高タイプB 阿部 憲一 先生(技術家庭科)

2016年度のベストティーチャー4名の教員が、第45回後援会定期総会の場で藤方雅志会長から表彰、賞金が授与されました。ベストティーチャー制度は教員のスキルアップを目指し、後援会のご協力により、2004年度に発足した制度です。前期2回の生徒による授業評価アンケートのAアベレージ上位中等部3名、高校6名の教員の授業を、全教員 保護者に見学していただき、総合評価の最も高かった中等部1名、高校2名がタイプAに、中・高で後期中間までの3回の伸び率が最も高かった教員がタイプBとなります。今年度は、中等部タイプAに古田奈穂先生、高校タイプAに高橋光太先生と日塔瑞乃先生が、タイプBには阿部憲一先生が選ばれました。なお、ベストティーチャーに選ばれると、3年間は選考の対象から外れます。



学年だより 中1

オリエンテーション合宿

4月7日(金)～9日(日)まで、静岡県の三保にオリエンテーション合宿に行ってきました。あいにく3日間悪天候で富士山の姿を眺めることはできませんでしたが、75名の皆さんは天候に関係なく実に生き生きと活動していました。さまざまな経験をして、お友達もたくさんでき、よい勉強になりましたね。

三保研修での驚き、学び

A組 野村 伶詩

ぼくは三保研修で、不安もありましたが、学んだことや楽しかったことがたくさんありました。

不安だったことは、クラスメートとなじめるか心配だったことです。しかし、研修を通して、不安は曇りから快晴に天気が変わるように、晴れました。

学んだことはたくさんありました。特にあいさつの大切さや利点に感心し、共感することがありました。相手のことを思いやる気持ちを持って、あいさつを一生の宝物にしていきたいです。

登呂遺跡見学では、身をもって昔の人の作業を体験しました。驚いたこともありましたが、それは道具のアイデアです。こんなアイデアを本当に考えられるのだろうか、疑問に思うほどでした。

今回の三保研修で、学んだことはたくさんあります。この研修での学びを生かし、中学生という自覚を持ち、充実した生活にしたいです。

中等部生活のスタート

B組 平井 可苗子

私はオリエンテーション合宿で2つのことを学びました。1つ目は「大きな声であいさつをする」ことです。私は人前で話をしたり、自ら声をかけたりするのが苦手で、今まであまりしてきませんでした。しかし、先生や研修センターの方々から大きな声であいさつをしてもらって、うれしく感じました。3日間の研修を通して、私も少しずつ自分から声をかけられるようになりました。

2つ目は「集合時間を守る」ことです。自分勝手な行動をとると全体に迷惑をかけてしまいます。そこで集団行動の大切さと大変さを知りました。集団行動をするためには、自律することと友達と協力することが必要だと感じました。

楽しみながらオリエンテーションを過ごし、中等部生活のいいスタートを切れたと思います。



A組



B組

はたらく消防の写生会(美術)

4月21日(金)晴天の中、今年も東京消防庁主催のはたらく消防の写生会に参加しました。大学のキャンパスで2時間かけて制作したペン画は、どれも気持ちのこもった作品となりました。



多くの消防士さんたちが対応してくださいました



消防士さんもモデルになってくださいました



一生懸命描きました

学年だより 中2

理想のクラスへ

中等部2年生になり、2カ月が経ちました。新しいクラスにも慣れてきたようで、各クラスとも仲良く過ごしています。そんな中、各クラスの級長、副級長に「こんなクラスにしたい」という思いを語ってもらいました。みんなが学校生活を楽しくするよう、学年やクラスになることを願っています。

A組 クラス目標

2年A組 ターケストラ ～42人で演奏してる?～

竹のようにぐんぐん伸びるクラス
+
オーケストラのようにそれぞれの楽器(個性)で
力を合わせてハーモニーを奏でるクラス

級長 山田 凜

僕は級長として、2-Aを毎日楽しいと思えるクラスにしたいです。そのために、僕は毎朝先生や友達に「おはよう」と言い、休み時間には多くの友達に声をかけてみんなで楽しく話したいです。理由は、あいさつや、みんなと話すことでクラスの仲をより深められるからです。

副級長 節政 杏里紗

私は2-Aを支えていく立場です。2-Aの皆と1年間過ごしていく上でメリハリをつけて、楽しみ、学んで、悔いの残らないようにしていきたいと思っています。副級長になったからには、自分から積極的に頑張りたいと思っています。

副級長 大塚 藍

私は2-Aの副級長で、級長を支えるという役割です。2-Aの皆は、いつも元気があり、ずっと笑っているような感じです。私は今のままでも良いと思いますが、もっといろんな人と話をして仲良くしたらより良い2-Aになると思います。いろんな人とは例えば同じクラスだけどあまり話をしたことがない人とも話をしてみると、その結果仲良くなれたりして、イベントなどの時に皆で楽しく協力ができるからです。皆が仲良く話せて笑顔が絶えることのないクラスにしたいと思います。



左から 大塚さん、山田君、節政さん

B組 クラス目標

We are the Best class「2-B」 ～つじもとクラス～

何事も「Best」なクラス
+
⑦らくても⑧しんを⑨って⑩もだちとがんばるクラス

級長 水野 晴瑠

私は級長として、2-Bをより良いクラスにしたいです。そのために、自分の行動を考え、中学生として当然の行動を皆でできるようにしたいと考えています。まず、けじめをつけることが大切です。例えば、授業中の態度と休み時間の態度の切り替えなどです。次に、自分の行動を考え、責任を持つということです。それは文字通りで自分がやったことがどういうことなのか考えることです。自分の言葉に責任を持って1人ひとりがお互いのことを考え行動して、快いクラスにしていけたらと思います。

副級長 片岡 姫菜

私は、2-Bを楽しくて団結力のあるクラスにしたいと思っています。楽しいときは大いに楽しみ、合唱祭や体育祭のように団結力の必要なときに協力できればいいなと思っています。

副級長 野上 真央

私が目指す2-Bは、まずけじめがちゃんとつけられることです。今はまだうるさいと怒られることが多くありますが、少しずつ授業に全員が集中できる環境を2-Bみんなで作り上げていきたいと思っています。また、スポーツ大会や体育祭などA組に負けないように頑張ります! 1年間2-Bの副級長として級長のことをサポートしつつ、頑張っていきたいと思っています。



左から 片岡さん、水野君、野上さん

学年だより 中3

目標

各クラスで、級長と副級長を中心に話し合い、クラス目標を決めました。また、学年委員が集まって級長会が開かれ、学年目標を決めました。学年目標とクラス目標を達成できるように、残りの中等部生活を1日1日大切に過ごしてほしいです。

学年目標 『輝笑展結』 ~Happy Life, Enjoy Story~

みんなが輝いて、笑顔でいられるように。そして、先輩として後輩たちに広げていき、中等部生活をきちんと終えようという意味が込められています。「~」の中は、何事においても一生懸命に取り組み、1つ1つのことを楽しんで思い出をつくらうということを表しています。

学年委員のメンバー

- 学年委員長：小松原 来未
- A組副級長：金子 雄大・後埜上 颯人
- 副学年委員長：田口 愛梨
- B組副級長：永藤 未彩・千葉 佳

クラス目標 A組

文武両道 完全燃焼 行事は熱く 全戦全勝!

3-Aらしく

A組級長 田口 愛梨

中学3年は、最高学年で、1・2年生を引っ張っていく大事な学年です。私は、中学校最後の1年を一人ひとりが頑張って、全員で最高の1年をつくりたいと思っています。まずは級長として、クラスを一つにまとめていきたいです。クラス目標を決める際、アンケートをとりました。その結果、一致団結して楽しく、メリハリをつけたいという意見が多く出ました。3年A組らしく、33名+1名全員でこのクラス目標を達成し、思い出をたくさん作れるように頑張ります。



クラス目標 B組

後悔のないめ組

後悔のないクラスに!

B組級長 小松原 来未

クラス目標は、とても短いですが、クラス内で決めるときに「楽しく」「諦めない」など中学生生活最後の1年であることが自覚できるような言葉が多く出ました。そのような意見をまとめて後悔のないように過ごしていくという意味を込めてこの言葉になりました。「め組」って何?と思う人もいるかもしれませんが、B組の学級担任である石川先生の名前の「めぐみ」とクラスの「組」をかけたものです。私たちは、自分たちでつくったこの言葉を目標に、1年間悔いが残らない学校生活にしていきたいです。



学年だより 高1

学年委員長・副委員長、学年目標が決まりました

4月13日、第74期生初の級長会(学年委員会)が行われました。委員長には過去最多の6名が立候補しましたが、所信表明の後に委員による投票が行われ、4組の石橋光くんと8組の小梶里奈さんが選ばれました。また、学年目標のポスターは副委員長となった阿部碧さん(2組)が書いた筆文字に、同じく副委員長の後藤更紗さん(9組)がイラストを添えてくれました。

8組 辻京輝

自分たちの学年目標を「百華繚乱~若き日に共に輝け高校生~」にした理由は2つあります。「百華繚乱」は一回にたくさんの優れた人が現れるという意味で、「花」を「華」にしたのは華やかな学年にしたいからです。副題の「若き日に共に輝け高校生」は、全員でこの1年間を輝かしい時間にしようという意味が込められています。この学年目標はみんな部活動があるなか各クラスの級長・副級長で決めたものです。この目標を1年生全員で達成して、2年生になったら次の1年生へと受け継いでいきたいと思っています。

9組 後藤更紗

学年目標のポスターイラストを担当させていただきました後藤です。このイラストは「百華繚乱」ということから、花びらが1枚1枚あるように、1人ひとり個性があることをたくさん色の違った花びらで表現しました。私たちは学年カラーが赤ということで、花びらは桜の花やバラなどをモチーフにしました。また、大きく描かれた少女の瞳は赤く力強い意志を感じ取れるように描きました。このイラストから学年目標の「百華繚乱」に込められた想いを感じ取ってもらえたらうれしいです。



校外活動(湘南校舎見学)

5月9日の校外活動では東海大学湘南校舎(神奈川県平塚市)を訪れました。文学部歴史学科考古学専攻の宮原俊一先生から高輪台の校舎建て替えの際に行われた発掘調査について聞いた後、キャンパス内を散策しながらクイズに挑戦しました。SSHクラスは研究施設の見学も行いました。



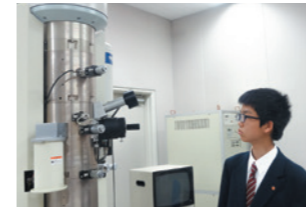
9組 田代樹

僕は今回の湘南校舎見学会で初めて大学に行き、雰囲気などを感じられてとても良い経験になったと思います。東海大学出身だというある先生が、湘南校舎はものすごい広さだと言っていたのが、実際に行ってみたら想像以上の広さでビックリしました。また、大学の先生や高輪台出身の学生による話を聞いて、本当に良い体験ができたなと思いました。班になってキャンパスを歩き、クイズの答えを見つけるのはとても楽しかったです。大学生の様子を見て、とても充実した生活を送っているんだなと感じられ、とても良い学習になったと思います。



8組 下平 孝太郎

私は湘南校舎に行ったとき3つのことを強く感じました。1つ目は湘南校舎の広さです。実際に歩いてみると端から端まで見るのがとても大変でした。また、開放感のあるケヤキ並木の下で伸び伸びと散策することができました。2つ目は大学生の優しさです。私たちが大学生に質問したとき、大学生は私たちの質問に優しく答えてくれました。3つ目は施設です。午後の散策のときに施設の中に入って見学をしていて、どこかの施設を見てきれいで、勉強に集中できる環境が整っていると感じました。今回の校外活動で早く大学生になりたいと思いました。



10組 小澤 幸太

SSHクラスは工学部の稲津敏行先生による、ご自身の体験をもとにユーマを交えた講義を受け、みんな聞き入っていました。「1+1=2、だけではない!」なぜだろう?と疑問に思う心・好奇心からその問題を解決するには視野を広く柔軟性を持って考えることが重要で、答えは一つではないということです。「答え」とは一つのものを見つけるのだと思っていたのですが、もの見方を発展させることが答えなのだ学びました。稲津先生は「好きこそものの上手なれ」ともおっしゃっていました。これからは、稲津先生の言葉を念頭に置いて活動に取り組んでいきたいと思っています。

Takanawa 365days ~2組の流儀~

私たち2組は、一人ひとりの個性が溢れるとても仲の良いクラスです。担任の鈴木先生は知識が豊富で、よく先生自身の外国での経験をみんなに話して下さいます。入学当初は堅かったクラスの雰囲気も今ではみんなが打ち解け合い、毎日笑いが絶えません。1年2組には10の掟があり、2組47人はこの掟を守りながら、学校生活を過ごしています。これから先、クラスで団結する機会が増えるので、この掟を心に、楽しい1年間にしていきたいと思っています。(小川夕輝)



学年だより 高2

テーマ「クラスの紹介」

- ①担任の先生はどんな人ですか？ 第一印象と、話してみても変わりましたか？
- ②どんなクラスですか？ 食べ物で例えると…？
- ③クラス目標、どんなクラスにしたいですか？

1組 小出 菜央

- ①担任の先生の第一印象は優しい人です。話してみると、変わったこだわりを持った面白い先生でした。
- ②クラスを食べ物で例えるとカラフルな個性を持っているので、ドロップだと思えます。



2組 丸山 百葉

- ①私たちの担任の先生は、とても熱い私たちのお兄さんの存在です。親身になって私たちの相談に乗ってくださいます。
- ②グレープフルーツです。元気でフレッシュさ全開のクラスです。
- ③Let's 佐藤～明るく楽しく元気よく～



3組 奥村 明日香

- ①口数少なそうと思っていたけど話すと面白い。
- ②ラタトゥイユ! ラタトゥイユってなに? 知らないですね。3組って聞いたことがあってもどんなクラスか知らない。つまりラタトゥイユ状態ってことです。



4組 小林 千夏

- ①戸嶋先生の第一印象は、「つまらなそうな先生」でした。しかし実は抜群のギャグセンスの持ち主で、クラスの明るい雰囲気を作ってください面白い先生です。
- ②2年4組は、個性豊かでありながらまとまりがあり、食べ物で例えると「寄せ鍋」のようなクラスです。



5組 阿部 泰世 永野 秀太 花井 建伍

- ①初めは怖そうという印象だったが、今では優しく、しよやかな印象が変わった。
- ②葡萄の1つ1つに弾ける旨味があるように、5組は1人ひとりが弾ける個性を持ったクラスです。
- ③クラス目標「ゆずりあい、りりしく、かがやこう!」



6組 中嶋 涼嘉

- ①私たちの担任の新井先生は、生徒と一緒に盛り上がりたくれとても面白い先生です。
- ②クラスは食べ物で例えると、個性豊かなので、いろいろな食材がある海鮮丼です。
- ③男女共に、何事にも全力で取り組めるクラスを目指していこうと思えます。



7組 若林 潤

- ①最初はとても怖いという印象でした。ですが、今は自分も級長になり、いろいろとお話ししていくなかで、生徒を思い厳しくあってください、生徒思いのとても良い先生だと思います。
- ②やしそばパン:強い個性を持った人たちが集まっていますが、それぞれが良い味を出している良いクラスです。



8組 清水 ちはる

- ①石堂先生は、第一印象通り、優しく、1人ひとりをしっかり見てくれる、一生懸命な担任です。
- ②8組はいろいろな人がいるけれど、まとまっていて楽しいクラスです。例えるなら、いろいろな食材があつてこそ美味しい、シチューがピッタリでしょう。
- ③メリハリがある、良いクラスにしたいと思えます。



9組 鯨岡 弘平

- ①私のクラスの先生は、メリハリのある少し色黒の先生です。思っていたよりも話してみると明るい人でした。
- ②私のクラスはアイスのようなクラスです。アイスにはたくさんの種類があるように、2-9の生徒は十人十色の個性を持った生徒の集まりです。
- ③2-9はみんなが自由に動きたいように動き、一人ひとりそれぞれが自立できるクラスにしたいです。



10組 安藤 伊織

- ①担任の田村先生はとても話しやすく、生徒一人ひとりにしっかりと向き合ってくれる優しい先生です。
- ②駄菓子だと思えます。なぜなら、駄菓子にはたくさんの種類があり、一つ一つが大きく違った個性を持っているからです。
- ③学級目標の「奇想10快」のように、他にはない良い発想を持った個性豊かなクラスになってほしいです。



学年だより 高3

級長からのクラス目標について

高校の最高学年をこのメンバーでどのように過ごすか、各クラス話し合いました。級長よりクラス目標を発表します。

1組 石井 楽

今年度のクラス目標は「クラスみんなで卒業しよう」です。他にもさまざまな目標はあると思うのですが、結局最後はみんなで笑顔で卒業したいという強い思いから、このクラス目標が生まれました。

2組 名久井 早紀

クラス目標は「NORMAL LIFE」です。高校生活最後の1年間は、当たり前のことを当たり前にして、楽しい毎日を過ごせるようなクラス目標にしました。みんなと青木先生と卒業まで突っ走っていきます。

3組 鵜飼 康弘

3組のクラス目標は「首尾一貫」です。自分たちも慣れたクラスのまま3年生になり、進路も決まりゆるんでしまうので、卒業まで引き締めて過ごしていきたいです。

4組 太田 朱里

「②笑顔あふれる ①理解し合える仲間 ④感動のラストを迎えよう!」という目標に決まりました。昨年よりも仲良く、高校生活最後のクラスで最高の思い出を作りたいです。

5組 沼澤 龍之介

今年の5組のクラス目標は「の(のびのび)す(すてき)け(けじめがある)クラス」になりました。高校生活最後の年なので、けじめがあり、楽しく生活したいです。

6組 金子 昌彦

クラス目標は「①かっさのある ②ぼうしない ③せい豊かな ④まっすぐ ⑤かやく ⑥みんな笑顔」です。明るく元気で、けじめのあるクラスにしていきたいと思っています。そのために、自分から率先して声をかけ、クラス全員をまとめてゆきます。

8組 佐藤 光晟

私たち8組は全員が優しく、周囲のクラスメートを気遣うことができ、高校生活を充実させられるよう「謙虚・優しさ・絆 キラキラ輝け直雄規48 ハイッ!」を目標にしました。

7組 兵藤 海来

7組の年間目標は「Last spurt・わいわい全力疾走」です。高校生活ラストを何事にも全力でつとめていけたらと思います。残りの時間を有意義に過ごしていきたいです。

9組 高山 裕夢

「3・9～感謝の気持ちを大切に～」感謝の気持ちと3年9組であることをかけて、このクラス目標にしました。親や授業をしてくれる先生方への感謝の気持ちを忘れずにこの一年を過ごしていけたらと思っています。

10組 尾上 愛

最終学年ということもあり、さまざまな行事だけでなく、学業にも爆発的に集中し、卒業まで走り抜けようということで、クラス目標は、「爆走」になりました。

憲法記念講演『基本的人権と子どもの人権救済活動』



「基本的人権と子どもの人権救済活動」
講演者：田畑智砂氏
司会者：井上先生

日本国憲法の施行から今年で70年、5月3日の憲法記念日にちなみ、高校1年生を対象として「憲法記念講演」が本校アリーナにおいて実施されました。恒例行事となっているこの講演は、ホームルーム活動の時間を延長して行われているもので、今年4月27日に実施されました。講演は、東京弁護士会子どもの権利委員会委員の田畑智砂先生から、弁護士としての仕事や人権についてのお話がありました。生徒自身に関わる子どもの人権について具体的な例を交え、生徒に寄り添った語り口で講演をしていただきました。また、いじめや虐待にあっている子どもたちのためのシェルターや、自立援助ホームでの救済活動の様子などについても映像を交えてお話をしていただきました。生徒たちにとっては、改めて「子どもの人権」について考える良い機会になったのではないかと思います。

人が持つ権利とは

1年3組 國分 康徳

僕は、今まで社会の授業以外で「権利」について考えたことはありませんでした。でも、今回貴重な講話を聞いて深く考えるようになりました。僕たちが生まれながらに持っている人権が、自分の生命、自由を保つためにあるということ、また憲法が自由を守ることを目的としているということを知りました。いま、こうして自由に生きていられるのは人権、憲法があるからなのだと思います。

でも、中にはいじめや親の虐待などで人権を守られずに生きている人もいます。田畑先生は、僕たち子どもだけでなくみんなが幸せになる権利がある、幸せになる権利を持って生まれたんだと言っていました。確かにその通りだなと思います。まずは親が子どものことを理解することが、その人が幸せに生きるために大切だと思います。

いま持っている権利を大切に、最大限に使おうと思います。

子どもの人権において私の主張

1年7組 小曲 茉莉

私はこの講演を聞いて、改めて人権について考えさせられました。そして、子どもが虐待を受けているというニュースの本当の重大さが理解できた。しかし、理解だけでいいのだろうか。子どもシェルターの子どもたちは自分が望んだ人生を生活していると言えるのだろうか。

私は人を生い立ちで判断する社会を変えるということが一番大切だと思う。理解するということはそのための手段の一つでしかない。私たちの力でどうやって社会を変えていけばいいのかという問いに、絶対の答えは存在しない。私はそれが当たり前だと思う。だからこそ今回の講演があったのだと思う。

私はまず、友人を見た目で判断しないようにしようと思う。それから、気の合わない子ども合うところを探す努力をしたい。小さな差別をなくしていくことは私たちにできることだし、多くの人の心を救うことでもあるのだ。

NASA 元宇宙飛行士による特別講演

5月17日(水)の5・6時間目、現在NASA宇宙飛行士会顧問を務められているJon A.McBride氏をお迎えし、宇宙をテーマとした特別講演を行っていただきました。SSH活動の一環として検討していたのですが、全生徒に聞かせたい講話であり予定になかった行事です。

動画や写真を使い、宇宙飛行士の厳しい訓練や宇宙での生活、これからの宇宙開発計画など丁寧に説明していただきました。高校生の時に会ったJ.F.ケネディの月面着陸計画を聞き、宇宙飛行士を目指したそうです。宇宙飛行士になるために、たった一度のチャンスを逃さないよう「勉強、勉強、勉強」と日本語で何度も教えてくださいました。長く厳しい訓練の後、1984年にスペースシャトルで宇宙飛行。一日に地球を16周まわり、宇宙から見た地球の写真はたいへんきれいでした。食べられるものはすべて真空パックし宇宙食にできるそうです。宇宙でのトレーニング・水や食事の様子・眠り方・トイレなど無重力での生活は興味深いものでした。スペースシャトルの着陸は、やり直しのきかない「ワンチャンス」だそうです。NASAは火星への着陸を計画しており、そのときにうちの生徒から宇宙飛行士が出てくることを願っているとおっしゃいました。

「宇宙では年は取らないのか」「宇宙から星はどう見えるのか」「宇宙で身長は伸びるのか」「宇宙を調べるのは無駄という人がいるが、それでも研究する目的は何か」など、生徒の質問に1つ1つ丁寧に答えていただき、貴重な時間を共有することができました。生徒たちも最後まで真剣に話を聞き、宇宙への関心、夢を膨らませてくれたことでしょう。



Jon A.McBride氏にお話をうかがいました



質問にも丁寧に答えていただきました

SSH活動報告

科学プレゼンテーション

4月15日に高校1年生SSHクラス41名が、科学プレゼンテーションの授業の一環として、日本科学未来館を見学しに行きました。見学をしながら自分の興味あるものを探し、クラスメートにわかりやすく説明しました。聞く側もただ聞くだけでなく、質問をするなどお互いの意見を深めました。また、TA(ティーチング・アシスタント)として、高校2、3年生のSSHクラスの生徒たちも、1年生のサポートをしていました。これから先、多くのことを学ぶ1年生だけでなく、自分の研究について発表する機会のある2、3年生にとっても、貴重な時間を過ごすことができました。

日本科学未来館に行つて

1年10組 鈴木 志歩

日本科学未来館に行くのは初めてだったのですが、こんなに面白い施設だとは思っていませんでした。自分の興味のある事柄について、科学コミュニケーターの方と一緒に話した時間は非常に楽しく、時間を忘れてしまうほどでした。特に「ユノハナガニ」というカニの展示はとても興味深く、まだ解明されていないカニの生態について知ることができ、海洋生物に携わっていきたいという思いがより強くなりました。

この経験を糧に、夢に向かってより一層勉強に力を注いでいきたいと思っています。



井上先生による科学プレゼンテーションの授業

新しい知識

1年10組 石川 伸之介

僕は今回、日本科学未来館でたくさんの知識を得ることができました。

例えば、ロケットのエンジンの仕組みや実際に宇宙へ持っていかれたロボットなど、たくさんのことを知ることができました。そして僕は将来、機械を作る仕事をしたいと考えているので、今回得た知識を糧にし、夢の実現に一步でも近づけるように、毎日しっかり勉強をしていきたいと思いました。



日本科学未来館でプレゼンテーションの実践練習

TA(ティーチング・アシスタント)として意識すること

2年10組 佐藤 駿

私はTAとして日本科学未来館でのプレゼンに参加しました。今回私が最も驚かされたことは、1年生のプレゼン能力の高さです。緊張して話すスピードが速くなることも、目が常に手元の文章にいつてしまうこともほとんどなく、とても冷静にできていると感じました。正直、自分は去年こんなに上手くできていなかったでしょうし、現在の能力もそれほど高いものではありません。そのため、自分からアドバイスを出していいの不安になりました。しかし、これはTAになることで新たな視点で学ぶことができ、今回のように自分のことはもちろん、今まで学んできたこともさらに深く知ることができるでしょう。これに気付けたことが一番の収穫だと思います。

今後のTAの活動では、後輩がより深く理解するためのアシストを精いっぱいしていくと同時に、自身の短所を克服し、知識を増やしていくことも大切にしていきたいと思っています。



TAの先輩の話をしっかり聞いています

お知らせ

高校2年生 研修旅行 6月22日(木)～27日(火)

- カナダホームステイコース
- ハワイ研修コース・ホームステイコース・サイエンスコース
- 北海道コース ○沖縄コース

研修旅行期間中、高1、高3、中等部は4時限授業(特別時間割)になります。

第9回中等部体育祭

中等部 1・2・3年

6月23日(金)

スポーツ大会

高校 1年

6月26日(月)

高校 3年

6月27日(火)

芸術鑑賞

中等部 3年

6月24日(土)

行事予定

June 6月

July 7月

- 1日(木) 朝礼 短縮授業 生徒総会(7時限)
- 3日(土) 英検①(中2・中3) 後援会委員総会①
- 4日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会①(中等部)
- 6日(火) 校医相談日③
- 7日(水) 専門医によるカウンセリング②
- 8日(木) 学年集会①(中3) 学年集会②(高3)
- 11日(日) 高輪会総会
- 15日(木) 学年集会②(高2、中2)
- 16日(金) 漢検(希望者)
- 17日(土) 後援会学年懇談会
- 18日(日) 受験なんでも相談会(新宿NSビル)
- 22日(木) 研修旅行(高2:カナダ、ハワイ、北海道、沖縄 ~27日)
4時限授業(特別時間割:高1・高3、中等部)
- 23日(金) 第9回中等部体育祭(さいたま総合グラウンド)
4時限授業(特別時間割:高1・高3)
- 24日(土) 4時限授業(特別時間割:高1・高3、中1・中2)
- 芸術鑑賞(中3)
- 26日(月) スポーツ大会(さいたま総合グラウンド:高1)
4時限授業(特別時間割:高3、中等部)
- 27日(火) スポーツ大会(アリーナ:高3)
4時限授業(特別時間割:高1、中等部)
- 28日(水) 生徒休業日(高2)
6時限授業(特別時間割:高1・高3、中等部)
- 29日(木) 塾教員対象学校説明見学会
- 30日(金) 火曜日の授業

- 1日(土) 付属推薦候補者説明会(高3)
- 2日(日) 付属推薦候補者説明会(高3)
英検二次①(中2・中3)
- 3日(月) 朝礼 短縮授業
- 4日(火) 校医相談日
- 8日(土) 水泳実習①(中等部)
- 9日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会①(高校)
- 14日(金) 剛健旅行開会式(7時限)
- 15日(土) 高輪会役員会②
- 16日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会②(中等部)
- 17日(月) 海の日
- 18日(火) 第49回剛健旅行(嬬恋高原研修センター周辺:~19日)
4時限授業
- 20日(木) 剛健旅行閉会式・夏期休暇前諸注意・大掃除(5・6時限)
- 24日(月) SSH科学体験学習旅行(~26日)
- 31日(月) 学園オリンピック文化部門
[国語、数学、理科、英語、芸術(造形)、知的財産、ディベート]
(嬬恋高原研修センター:~8月5日)

編集後記

日本国憲法施行から今年で70年、幾度となく改正論議がなされてきたが、一度も改正されることなく現行憲法の下でわが国は平和と繁栄を遂げてきた。先月、安倍首相は自民党総裁として「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と明言した。憲法改正のためには国民投票で過半数の賛成が必要だ。イギリスのEU(欧州連合)離脱、トランプ大統領の就任など大方の予想に反する結果となった。世界がポピュリズム(大衆迎合主義)化する傾向にある中、社会の動きを見る目を養っていかなければならないのではなかろうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>